

令和2年度第4回池田町まちづくり会議 報告書

日時等 令和2年10月22日(木)午後6時00分～8時15分
西部地域コミュニティセンター

出席者 まちづくり会議委員20人(34人中) 会議の開始時点：18人
傍聴者2人
町担当課長等8人、町事務局(企画財政課)5人

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 報告(説明)事項

まちづくり会議条例第5条により、この会議は委員の半数以上の出席がなければ会議を開くことができないこととなっています。開会の時点で、委員34名中18名の出席を頂いており、会議が成立していることを確認します。

本日は、これまで3回にわたり、総合計画の素案に係る内容確認を行ってきましたが、終盤に協議を行うこととしておりました「行財政分野」に係る内容確認を行います。続いて、町議会の議決を受ける部分、「基本構想」部分の協議を行います。本日も、2時間程度を目途に会議を進めたいと考えていますので、ご協力をよろしくお願い致します。

4. 協議事項

(1) 総合計画「総論」 策定協議について

資料1：池田町第5次総合計画第1編総論(R02.07.20案)からの修正等一覧

7月29日会議で使用した総合計画「総論(案)」について、その後のまちづくり会議や町議会調査等を経て見直しを行った内容、追加した内容として、資料1のとおり。
質疑等は、なし。

(2) 総合計画「基本計画」策定協議について

資料2：池田町第5次総合計画 基本計画(R02.09.02案)からの修正等一覧

9月2日会議で使用した総合計画「基本計画(案)」について、その後のまちづくり会議や町議会調査等を経て見直しを行った内容、追加した内容として、資料2のとおり。
質疑等は、なし。

資料3：池田町第5次総合計画 基本計画 追加施策(5件)

行財政分野を中心とした施策として、資料3により協議した。質問意見等(内容要旨)について、次のとおり。

土地利用

質問、意見等なし

住民参加、男女共同参画

質問、意見等なし

行政運営

委員) 役場庁舎について、「整備に向けた手法や財源確保など…」と記載されているが、もう建て替えが必要なのではないか。

回答) 平成 27 年に耐震補強改修を行っているため、当面の間は問題がないと思われるが、一方で老朽化していることは変わらない。庁舎整備の基金を設置しているが、財政状況から積立てが進められていないことも踏まえ、財源確保に努めていかなければならないことを記載させて頂いた。

財政運営

質問、意見等なし

広域行政

委員) 帯広市が中心となり、池田町としては受け身な事業となっているのか。

回答) 十勝管内全体で行っているものについて、各々の市町村が意見を出し合い、決定されるもの。

(3) 総合計画「基本構想」策定協議について

資料4：基本構想「1. 池田町の将来像」検討資料

事務局説明

昨年の会議、また、今回の任期最初の会議においてご報告していますが、昨年5月、総合計画策定に向けた中学生まちづくりアンケートを実施し、「10年間のまちづくり計画、どのようなキャッチフレーズが良いと思いますか」という質問に対し、94人から67案のキャッチフレーズ提案を頂いています。今回の将来像は、中学生のキャッチフレーズ提案を最大限尊重し、その中から選定し、作成を行うこととさせて頂きたいと思います。なお、一部の職員による作成や選定としないため、9月に2日間、114人の参加による職員研修で、20グループに分かれ、中学生の提案を参考に、これまでのまちづくり会議や住民アンケートの意見等を踏まえ、将来像の策定作業を行っています。現在、この作業結果に基づき、将来像の案を最終検討中にあります。

正式な提案は、次回のまちづくり会議とさせて頂くこととなりますが、本日は、将来像の作成に係る経過について、ご報告し、ご了承を頂きたいと思います。

将来像は短い文章で10年間のまちづくりの方向性を表現するという、かなり難しいものとなりますが、中学生からの提案を求めた以上、その想いをなるべく尊重していきたいと考えていますので、ご理解をお願いします。

質疑応答

委員) 中学生に将来像を託すということについて、釈然としない。10年先のまちづくりを担う、託すのは良いが、大人が池田町の未来像を我々も考えるべきであり、テーマなどを示したうえでのもとならなければ、「丸投げ」となってしまうのではないか。

回答) ご意見はその通りと思う。将来像の検討にあたり、特に重視すべき事項として、一つ目に人口減少対策、特に地元回帰の意識、地元に住んでいる人が地元を想うことが最も重要と考えている。また、子育て支援の充実、また、住民アンケートでは、雇用、商業振興の2つ

が、満足度が低く重要度が高いという結果が突出している。最後に、まちづくりへの関心、協働、地域コミュニティ意識、地域の見守り活動等の維持、これらについて、保健福祉や教育、生活基盤整備などの基礎部分に加え、特に重要と考えている。その内容を反映できるものとするよう、検討中にある。

委員) まちの課題は皆、ある程度分かっている。しかし、キャッチフレーズは、形に表せないもの、気持ちの部分だと思う。アンケート調査でまちづくりに関心が低いということであったが、関心を持ってもらうための方策も必要だが、「御旗」見たいものがないと、そのためには大人もしっかり関わっていった方が良いかと考えている。

会長) 考え方が示されたため、ご意見を受け、次回の提案とさせて頂きたい。

資料4：基本構想「3．土地利用の方向」検討資料

：基本構想「5．まちづくりの基本目標」検討資料

事務局説明

土地利用の方向として、基本構想に規定するものとなります。なお、本日ご検討頂きました施策部分の「土地利用」の内容に準じたものとしています。

政策としての概要や方向性についても、施策で検討頂いた内容に基づくものとなっているか、ご意見を頂きたいと思います。

質疑応答

なし

休憩（午後7時00分～7時05分）

資料4：基本構想「2．人口指標」検討資料

事務局説明

資料4の2～4ページについて説明した後、部会に分かれての協議。

資料4：基本構想「4．まちづくりの基本方針」検討資料

事務局説明

資料5について説明した後、部会に分かれての協議。

部会協議（午後7時20分～8時00分）

保健福祉教育部会報告（内藤部会長）

人口指標について、目標値は設定した方が良いとする意見となった。人口減少が著しいが、5千人はきりたくないと言われた。目標を5,300人という意見もあったが、5,000人、5,100人～5,200人という意見が多かった。出生率の1.8改善も現状では難しく、転出超過の抑制も半減は厳しい、最低でも25%減少とし、5,100人程度を維持するという意見であった。

ただ、人口が減ったとしても豊かなまちを形成していく、マイナス面ばかりではなく、暮らしやすさを追求してほしいという意見があった。

産業振興部会 報告（事務局）

人口指標について、「目標が必要なのか？設定して何になるのか？」という意見もあった。しかし、目標がなければ努力しないので、それであれば5,300人程度として、人を減らさないよう努力すべきではないかという意見もあった。

基本方針について、お金がない、絵に書いた餅にならないようにしてほしいという厳しい意見も頂いた。

生活基盤整備、移住交流部会 報告（森尾部会長）

目標人口について、パターン3の5,160人程度が妥当ではないかとなった。非正規社員を正規社員とする動き、池田町は所得が低く歯止めがかからない、仕事は選びさえしなければあることにはあるなど、目標を設定すべきとなった。なお、転出者は学生や就職で離れると、戻ってこない。もう一つ、教育レベルを上げることは大事だが、池田から出て行ってしまったら意味がないという意見もあった。結論として、パターン3の5,160人程度が妥当とされた。

基本方針については、時間がなかったが、これで良いと、「まちづくりを進めます」という努力目標とされており、表現が良いとされた。

（４）今後の会議の進め方について

本日も長時間協議頂き、ありがとうございました。本日頂きましたご意見を踏まえ、改めて計画内容の再検討、見直しを行うこととします。次回のまちづくり会議につきましては、町議会への提案時期等の関係から、日程にあまり余裕がありません。会長にもお願いし、11月12日（木）午後6時からの予定とさせて頂きたく、お願い致します。ご出席をお願い致します。

次回の会議では、総合計画の全体について、最終確認をお願いすることとなります。将来像、5つの基本目標の内容、人口指標、この3点については、町長から提案を行う予定とします。

なお、会議の進め方、日程等は、9月8日の会議に使用した資料の日程から大きく変わっておりませんので、そちらもご確認頂ければと思います。

会議が続きますが、総合計画の策定作業も最終版を迎えております。ご理解とご協力をお願い致します。

5. その他

特に無し

6. 次回の開催予定

先に確認のとおり。

7. 閉会（午後8時15分）

(令和2年10月22日令和2年第4回池田町まちづくり会議)

専門部会協議結果報告：保健福祉、教育部会

1) 出席状況：部会員（池田町まちづくり会議委員）

神谷委員、米倉委員、尾西委員、阿部麗子委員、堤委員、内藤委員

2) 出席状況：町職員等

鈴木福祉課長、高畠保健子育て課長、天野企画財政課長

3) 協議の内容

<人口指標>

- ・大石町長時代「大いなる田舎」とっていた。人口減少がダメなわけではないと思う。
- ・文化が進行すると子どもが減る。
- ・転出者を減らす努力が必要
- ・人口指標は設定すべき
- ・人口が5,000人を下回らないように
- ・目標なのだから、転出者が転入者を上回らないように5,300人
- ・5,200~5,300くらいがよい
- ・合計特殊出生率1.8も厳しい。転出超過の半減も厳しいと思うので、25%減少5,100人程度

<まちづくりの基本方針>

特に意見なし（時間がなかった）

(令和2年10月22日令和2年第4回池田町まちづくり会議)

専門部会協議結果報告：産業振興部会

1) 出席状況：部会員（池田町まちづくり会議委員）

十河委員、穂田委員、萬委員、小原委員、遊佐委員、土屋委員、土田委員、美濃委員

2) 出席状況：町職員等

大堀産業振興課長、佐野ブドウ・ブドウ酒研究所長、長谷川企画財政課主幹

3) 協議の内容

<人口指標>

- ・目標が必要なのか？何になるのか？
- ・目標がなければ努力しないので5,300人程度としてはどうか？

<まちづくりの基本方針>

- ・北海道総合計画の課題、方向性を利用して6点の基本方針は理解できた。
- ・町長は財政的に厳しいと言っているが、計画を作成しても実行できるようにしてほしい。絵に書いた餅にならないようにしてほしい。

(令和2年10月22日令和2年第4回池田町まちづくり会議)
専門部会協議結果報告：生活基盤整備、移住交流部会

1) 出席状況：部会員（池田町まちづくり会議委員）

太田委員、郷司委員、神内委員、角谷委員、森尾委員、小林委員

2) 出席状況：町職員等

餌取総務課長、酒井町民課長、畠中建設水道課長、齋藤企画統計係主査

3) 協議の内容

<人口指標>

職員) 社人研の推計、合計特殊出生率1.8、転出超過の考え方について説明。

職員) 池田町の合計特殊出生率の低い理由の説明。住宅環境の整備など、4次計画において重点的に実施。転出超過は高校卒業後に地元に戻らないため。中学生のアンケートで地元に着がるとの回答は高い。

委員) 池田町の所得は管内でもかなり下位にある。子育てするにも先立つものがないのでは。

職員) 十勝管内の農業者は比較的、子どもの数は多いが、池田は少ない傾向にある。

委員) 子育て環境はどうか。この間新聞には10万円給付の記事が出ていたが。

職員) 池田町の子育て支援は充実している方、医療費の無料化、保育体制の充実、子育て給付金など。出生率は上昇傾向にはある。

委員) 池田町には働く場所がないと聞くが。

職員) 人手不足で困っている企業もある。就労希望とのミスマッチや賃金の低さが障壁となっている面もある。

委員) 池田はワイン産業で盛り上げていくしかないのでは、ブドウ栽培農家はどれくらいいるか。

職員) 過去には相当数あった。数年前は12~13件程度。但し、一線を退いた農業者が趣味的に行っている面もあり、高齢化に伴い減少傾向だが、最近は農業生産法人や後継者がいる農業者もいて、一戸当たりの栽培面積は増加傾向にあり、面積は増えている。最近では道東にもワイナリーが誕生し、ワインツーリズムの可能性も。山幸等耐寒性品種からつくられるワイン等のブランド化がカギとなる。

委員) 教育レベルを上げて、人材育成にまちを挙げて積極的に取り組んではどうか。

職員) 教育レベルが上がり、学歴が上がると結局地元には戻らなく可能性がある。

委員) 社人研の人口推計や、特殊合計出生率、現在の転出超過の状況等を踏まえ、第5次政策で努力目標として、パターン3が妥当と考えるが、他の委員さんの意見は。

委員) 概ね賛同のようですので、生活基盤・移住交流部会ではパターン3で報告します。

<まちづくりの基本方針>

委員) 北海道では7分野としているが、そこから6点についてまとめたということか。

職員) 北海道の7つの将来像はあくまで参考に、こういう考え方で進めているとの認識に立って、それぞれの池田町の総合計画の政策立案に対し、横断的な考え方としてまとめているもの。

委員) 「まちづくりを進めます」という努力目標とされており、表現が良いとされた。

職員) 総合計画においては、目標設定が重要、目標の達成に向け努力していく。